

褐色ニ變セリ

第二十一圖ハ普通ノ纖維ヲ示スモノニシテ其(b)ハ纖維ノ破碎セルモノナリ其外觀較ヤ粗糙ニシテ邊界厚ク較ヤ扁平ナリ

此纖維ノ特有顯著ナル性質ハ乾燥シテ扁平トナリ自ラ其中軸ニ纏絡スルコト是ナリ此性質ニ由テ以テ麻楮及桑ト之ヲ區別スルコト容易ナリ之ヲ撞打スレハ細片ニ碎ケテ恰カモ麻ニ類似スレモ麻ヨリハ較ヤ短カシ其破碎スルノ力麻ヨリハ強クシテ桑及楮ヨリハ弱シ

麻

麻ノ横截面ハ數多ノ形狀ヲ具シ其胞隔ハ厚クシテ綿ニ類似ス苛性曹達ノ溶液及沃鏡ト硫酸トノ試験藥ノ反應ハ恰カモ綿ト同一ナリ

第二十三圖ノ(a)ハ普通ノ纖維ニシテ其(b)ハ破碎セルモノナリ其邊界ハ綿ヨリモ滑ラカニ且ツ小サク又薄クシテ之ヲ撞打スレハ容易ニ細片トナル此性質アルニ由テ則チ楮桑綿其他ノ纖維ト之ヲ區別スヘシ

第二十四圖ハ破碎セル纖維ヲ示スモノニシテ其數常ニ同一ナルハ即チ此纖維ニ特別ナル性質ノ一トス此纖維ハ撞打スルニ由リ破碎シ易キモノニシテ綿ハ依然通常ノ形態ニ存スルニ此纖維ハ早ク既ニ細纖ノ狀ヲ呈スルモノナリ

○論說及報告

加奈太太平洋鐵道ノ記

工學士 田邊 朔郎

我國ヨリ歐米ニ渡航スルニ道ヲ加奈太平洋鐵道ニ取ルキハ費用日數共ニ他線路ヨリ少ナキカ故ニ我國人ノ此線路ヲ通過スルヲ益々多カル可シ依テ左ニ其一班ヲ記シテ諸君ノ參考ニ供セントス

余昨年米國ニ滯留ノ際一日モントリオールニテ加奈太平洋鐵道會社々長バンホーン氏(W. C. Van Horne)ニ面會シ談該工事ノ事ニ及ブ余其事業ノ速ニ完全ナル落成ヲ告ケタルヲ稱贊シ我國人ノ爲メニ利益少ナカラザルヲ述ベ殊更ニ余ノ如キ土木ヲ専門トスルモノニハ又一層ノ見榮アル由チ述ベタルニ氏大ヒニ悦ビ談了ラントスルキ別冊記事圖面等併セテ數部ヲ出シテ曰ク是レ余カ囊ニ副社長タリシキニ手カラ艸セシ所ノモノ此線路ノ事ハ中ニ詳カニ記載セリ一讀シ賜ハバ明瞭ナル可シ此通路ハ開ケテヨリ未タ時日少ナキカ故ニ不完全ナル所少ナカラス既ニ本年モ三百萬弗ノ工費ヲ以テ雪除ケテ増築セリ又明年ヨリハ太平洋航路ニ上等ナル瀛船ヲ使用スベシ貴君歸國セラレタレハ此線路ノ模樣ヲ君カ朋友ニ告ケラレ貴國人ノ益々此線路ヲ通過セラレントヲ望ム云々余諾シテ歸ル

抑モ加奈太平洋鐵道ニヨツテバンクーバー港ヨリモントリオールニ至ル日數六日ト十九時間ヲ要シ里程二千九百六哩アリ大山ヲ越ヘ平原ヲ横切リ大河ヲ渡リ未タ人類ノ振蹠セザリシ地方ニ此三千哩ノ鐵道ヲ作リシハ實ニ容易ノ業ニハ非サルナリ如斯事業ハ五十年前ノ人ハ夢コタモ見ザリシモノナルニ千八百七十五年ニ至リ一旦着手ノ運ビニ至リタレハ英國内閣更迭ノ爲メニ瓦解シ終ニ千八百八十年ニ事業決定シテ全八十年ノ初メニ會社ヲ創立シ十年間ニ落成カスヘキ目的ヲ以テ政府ノ特許ヲ受ケ直ニ工事ニ着手スルトハ成レリ

西ハ太平洋ノバンクーバー港ヨリ東ニ向ツテ鐵道布設ニ着手シ東ハシユーパーリオル湖ノ北
部ヲ通シテ西ニ進ミクレグレイクト云フ所ニ於テ東西工事出會點ニ最后ノ鐵軌ヲ布キタル
ハ實ニ千八百八十五年十一月七日ノ朝ナリケリ

其政府特許ノ箇條ハ數目アレハ大略左ノ如シ

一 保護金トシテ二千五百萬弗ヲ受ケ豊饒ナル耕地トナル可キ所ヲ貳千五百萬、エーグル^ルヲ
無代價ニテ讓受ケ鐵道敷地及鐵道ニ要スル停車場、船渠、棧橋、機械工場モ全様官有ノ所ハ
無代價讓受ノ事

一 此鐵道ノ建築ニ要スル鐵軌、附屬具、鐵橋、電信線、其他ノ木鉄類ハ輸入税免除ノ事

一 政府ガ三千萬弗余ヲ費シテ建築スル長凡六百哩即ハチシユーパーリオル湖ヨリウイネベ
ツグ迄四百二十五哩太平洋海岸ハラルド内海ヨリ東方へ二百十三哩ナル此鐵道本線ノ
一部分(尤モ機關車列車等ハ付屬セズ)ハ完成ノ上無代價ニテ會社ニ下渡ノ事

一 鐵道建築ニ用ヒタル土地物料等ハ永世國税免除ヲ受ケ初項ニ述ベタル耕地ハ賣渡シタ
ル所及ヒ使用セル所ヲ除キ殘部ハ廿年間國税免除ノ事

一 西南及夫ヨリ西へ向ツクル方向ヲ除クノ外ハ此線路ヨリ南方國界迄ノ間ニハ落成后二
十年間他ノ鐵道ヲ敷クコトヲ許可セザルコト

右鐵道布設ノ速ナリシコトハ實ニ其比ヲ見サルコトニテウイネベツグヨリ西方へハ數月間殆ン
ド一日ニ付平均三哩ニ相當シ尤モ多キハ一日五六哩以上ニ上リシコトアリシト云フ
鐵道布設ノ爲メニ測量ヲナシテヨリ初メ如何ナル種類ノ地ヲ通過スルヤヲ發見シタルナ

リシユーベリオル湖ノ東北及西ニハ森林アリウイネベツクヨリロツキ一山ノ間ノ平原ハ地脈豐カニシテ耕作ニ適ス英領コロンビヤノ山地ニハ大ナル石炭山アリ當初此鐵道築造ヲ目的トセシ政事上ノ考ヨリ寧ロ商賣上ノ利益アルヲ認ムルニ至リシト云フ此線路ニ附テ他ニ其比類ヲ見サル注意ス可キ所少ナカラスト雖モ其數項ヲ舉グレバ

一 歐洲及東部合衆國ト東方亞細亞洲トノ間ノ最近線路ナルヲ

一 大西大平兩洋間ヲ接続スル鐵道線ニシテ悉皆一會社ノ所有ニ屬スルヲ

一 此線路ニ關係ヲ有スル地面ノ大ナルヲ

一 此工事中ニテ利息ヲ拂フ可キ部分ノ金額少ナキヲ即ハチ凡三千哩ノ線路ニ對シ五朱利附ノ金ハ僅ニ三千五百萬弗ノ金額ヲ超ヘザルヲ

一 最モ最近ナル工法ニヨリテ諸事構造シテアルヲ

一 線ノ開クル迄ハ如何ナル地所ヲ通過スルヤヲ知ラザリシヲ

工事上ニ於テ注目ヲ要ス可キ箇所モ甚タ多ク西ノ方ヨリ之ヲ記セバフレイザー、ケニオン中ノ工事ノ如キグレシヤハウス下ノ屈曲形即ハチループノ如キ其他ロツキ一山中ノ工事雪除ケ平原フレイリー中ハ水ニ乏シキガ故ニ自然瓦斯ヲ用ヒテ水ヲ汲上ケ居ルコトヲシシハツト近所ノ鐵橋ウイネベツク脇ノ鉄橋シユーベリオル湖ノ北岸ヲ通過スル所ノ工事等ニシテ地形ヲ云フキハパンクパーヨリ西方凡ソ六百五十哩ノ間ハ或ハ山嶽トナリ或ハ溪間トナリテロツキ一ノ森林山脈ヲ横切リ夫ヨリ西方凡ソ千二百五十哩ノ間ハ只小草ノミ茂レル一水

平ナル平原ニシテ夫ヨリ西方凡ソ六百哩ノ間ハ地面全体岩石ニシテ小木繁茂セル丘岡突起シ

夫ヨリ西方モントリオルニ至ル距離凡ソ四百哩ハ又樹木アル稍平地トナルナリ
線路ノ摸樣ハ大略前ニ述フル所ノ如シ尙詳細ハ添ヘタル別冊ニ就キテ知り玉ハンコト希望
ス

附 横濱ヨリ米國紐育ニ至ルコ凡ソ日本紙幣三百圓アラハ上等船室寢車及車中食事
ホタル料等ニ充ツルヲ得可シ尤モ酒ヲ飲ミ烟草ヲ喫シ或ハ途中滯留見物買物等ハ此外
ニ計算スベシ(歸路即ハチ紐育ヨリ横濱ニ來ルニハ費用是ヨリ余程多キト知ル可シ)

横濱ヲ發シバンクーバーニ着スルニ日數凡ソ十四日ヨリ十六日迄トシバンクーバー發
車ハ毎日(月曜日ハ發車ナシ)午后一時ニシテ夫ヨリ第七日目ノ朝午前八時ニモントリオ
ルニ着ス夫ヨリグラントラング鐵道線路ニヨリ午后四時モントリオルヲ發シ翌日午
前七時紐育ニ着ス此日數合計凡ソ滿二十三日間ヲ要ス

總テ米國瀛車中ニハ萬事行届キテ列車モ美麗ナレバ連日車中ニ起居スルハ機關車ヨ
リ昇ル煤烟ノ爲メニ衣服ヲ汚スノ患アリ同行セシ高木某都々一チ口占サム記ヲテ諸君
ノ覽ニ供ス

旅の衣にすゝめかけつとけ野ぶし山ぶし瀛車の内

最モ景色ノ美ナルハロツキー山脈ノ中ニアリテ此地方ニ於テ最高峯ハ前社長ノ名ヲ取
ツテスタベン山ト名ク風景筆紙ニ盡シ難シ一句アリ御一笑ヲ乞フ

捨筆と實にもつともなけしき

○西字新聞抄譯